

全 員 協 議 会 記 録

開 催 日：平成31年2月4日(月)

開催時間：10:00 ～ 11:15

開催場所：全 員 協 議 会 室

〔議 員〕

川神議長、田畑副議長

三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員

小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員

芦谷議員、永見議員、佐々木議員、道下議員、西田議員、澁谷議員

西村議員、牛尾議員

〔執行部〕

~~市~~長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長

教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長

産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長

三隅支所長、教育部長、消防長、~~上下水道部長~~、(広域行政組合事務局長)

〔事務局〕 局長、次長、議事係長

1 執行部報告事項

- (1) 浜田市生活路線バスの事故について (地域政策部)
- (2) 浜田漁港周辺エリア活性化検討委員会について (産業経済部)
- (3) 文化庁への日本遺産認定申請について (同)
- (4) 浜田市立原井幼稚園の休園について (教育委員会)
- (5) その他
(配布物)
 - あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との地方創生に関する連携協定について (地域政策部)
 - 第2次浜田市地域公共交通再編計画について (同)
 - 浜田市自死対策総合計画(案)について (健康福祉部)
 - 平成31年度国民健康保険事業費納付金(本算定)について (市民生活部)
 - 浜田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)について (同)
 - 萩・石見空港の状況について(報告) (産業経済部)
 - 平成30年度 ふるさと寄附について (同)
 - 優良乳用牛導入支援事業の状況について (同)
 - 漁業別水揚げについて (同)
 - リフレパークきんたの里の現況報告について (金城支所)
 - 旭温泉あさひ荘の入湯料金の改定について (旭支所)
 - (仮称)杵束コミュニティ施設の整備について (弥栄支所)

○平成30年度卒業（園）式及び平成31年度入学（園）式日程

（教育委員会）

○「LINE Pay請求書支払い」を導入します

（上下水道部）

2 その他

【会議録】

[10時 00分 開議]

川神議長	ただいまから全員協議会を始めます。本日は、市長及び上下水道部長が出張のため欠席との報告を受けておりますので、お知らせしておきます。会議に入る前に副市長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。
副市長	本日は市長が北前フォーラムの関係で出張しており、出席できません。市長から欠席することの謝罪と、土曜の前浜田市長宇津徹男様の浜田市市葬の折には、皆さんお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。感謝を伝えて欲しいということでしたので、お伝えさせていただきます。大変ありがとうございました。
川神議長	それでは議題に入ります。

1. 執行部報告事項

(1) 浜田市生活路線バスの事故について

川神議長	地域政策部長。
地域政策部長	(以下、資料をもとに説明)
川神議長	報告が終わりました。今の報告について質疑等はありませんか。 (「なし」という声あり)

(2) 浜田漁港周辺エリア活性化検討委員会について

(3) 文化庁への日本遺産認定申請について

川神議長	2件を一括して報告してください。産業経済部長。
産業経済部長	(以下、資料をもとに説明)
川神議長	2件について報告が終わりました。まず(2)について質疑等はありませんか。
澁谷議員	スケジュール表が31年度3月になっていますが、この後の新施設の建設と高度衛生管理型市場との整合性はどうなりますか。施設はいつ完成予定で進んでいますか。
産業経済部長	ビジョン作成は平成31年度末を目指しています。お魚センター整備スケジュールについては今年度3月議会において、建物と土地の買取予算要求をさせていただきたいと思っています。お魚センター運営会社においては7月くらいを目途に解散されます。その後、市としては施設の実設計業務に入りたいです。今年12月議会において工事着手の議会承認を得たいと思っています。施設工事は来年32年1月から32年9月くらいを目途に取り組んでいきたいと予定しています。
澁谷議員	よくわからなかったのですが、お魚センターを直すのと、これを新施設と書いてありますから、新しい売場面積、経営コンセプト、経営ドメインみたいなものを明確にしてやるのではないのですか。
産業経済部長	今回のお魚センターは運営会社から買い取り要望が出ていますので、これに沿う形で進めています。それに向けたコンセプトについては、今後2月5日、明日と2月18日に3回目の検討委員会を開いてその中で施設の方向性、イメージ等を描きたいと思っています。
澁谷議員	要するにお魚センターについてやるのですか。この計画は。今のお魚

センターは公設仲買売場の皆さんが移転されるのですよね。それと新しく観光客や地元の方を集客するような新鮮市場を新たに作られるための検討委員会ではないのですか。

産業経済部長

お魚センターをどうするかというテーマもありますが、全体的には漁港エリアの施設をどうするかを検討するものです。まずは高度衛生型荷さばき所ができる事で、それに対応した仲買や小売り対応、水揚げ増のための冷凍冷蔵庫の整備、そういった一連のエリア活性化を描くためのビジョンづくりがこの検討委員会となります。

澁谷議員

お魚センターはある程度今のままで残るのか、それとも撤去して建物を完全にゼロにして新たにエリア全体で考えるということなのか、この部分はある程度残って新たにきちんとしたことを考えるのか。それによって3月の議会の対応が全然変わってくると思うけど、全体像についてどうなのですか。経営戦略とかコンセプト、経営理念等は誰が決めてどういう形になっていくのか。誰が責任を持ってやっていくのか。今のお話で全く見えないのだけど、具体的にわかるように説明いただけませんか。

産業経済部長

漁港周辺の活性化エリアについては、浜田市総合振興計画の中でも水産業振興と観光交流の推進という2つの施策大綱の中でもうたってありますが、漁港と市場機能の強化という柱と、集荷・販売力強化という柱、もう1つに観光及び地域活性化の推進。この3つの柱を掲げて今回周辺エリアのビジョンを作成しようというものです。それと並行して既にお魚センターの在り方については、これまでも議会の皆さんにご説明させていただいていますが、仲買売場施設の老朽化が進んでいる、あるいは耐震化が施されていない、衛生面への対応もできてない。そういった、移転先としてお魚センターを考えた所です。

またお魚センターについても入り込み客数が3分の1、売り上げは4分の1、5分の1という厳しい状況にあります。そういった観点から全体のビジョンの検討と並行して、急いで取り組まないといけない仲買とお魚センターの在り方については、集中的に関係者の意見を伺った上で方向性を出したいのが今の動きとなっています。

澁谷議員

その後施設策定についての業務委託になっています。おそらくコンサルが入って企画するのかと推測します。瀬戸ヶ島の時もこういう計画があって、私の記憶に間違いがなければ七、八百万円のコンサル費用で計画がありました。その時の温泉施設は完全に無駄だと思うけど、それ以外は流用できないのか、またここで業務委託というのは税金の使い方としてどうなのかと素朴に疑問に思うのですが。瀬戸ヶ島の計画をある程度参考にしながら、この検討委員会でアウトラインはできませんか。要するに税金の二重遣いに思えますが。

産業経済部長

今回の漁港エリアの活性化検討の中には、瀬戸ヶ島区域も入れてのビジョンづくりにしています。瀬戸ヶ島についてはこれまでも埋立地の活用で色々検討され、計画もできていますが、この計画を全く無駄にするのではなく、可能な部分は次の計画に盛り込ませてもらいながら考えていこうと思います。二重投資とにならないようすみ分けしながら検討を進めていきます。

澁谷議員

新施設の完成が32年1月から工事して9月までということは、かなりタイトなスケジュールかと思いますが、本当にこのタイミングで完成する

産業経済部長	<p>と考えて良いのですか。</p> <p>予定どおりに市民の皆さん、議会の皆さんの承認が得られるならば、このスケジュールに沿って進めさせていただきたいと思っていますし、お魚センターを運営する会社におかれては、5月をもってテナントの運営は終了すると考えておられます。そうすると浜田市の顔となるお魚センターが1年半くらい休業するということは、誘客面ではマイナスだと考えていますので、できるだけ早く操業開始できるよう取り組む必要があると思っています。スケジュールはタイトかもしれませんが、できるだけ早く事業が進むように考えていきたいです。</p>
澁谷議員 産業経済部長	<p>新施設の経営主体・経営責任はどこが取るのですか。</p> <p>買い取った後の新しい施設については市の所有となりますが、運営について現在は指定管理で取り組みたいと思っています。具体的にどういった形であそこへの参入企業さんを選定するか、その条件等は今後協議する必要があると思います。</p>
澁谷議員 産業経済部長 川神議長 川上議員	<p>新設の経営主体ですか。お魚センターではなくて。</p> <p>新施設については指定管理でやるということです。</p> <p>その他ございますか。</p> <p>新施設の計画はどこで考えるのか。ここの業務委託はあくまでもエリアの計画についてだと思いますが。</p>
産業経済部長	<p>新施設の計画については、検討委員会を今年3月までで3回計画していますが、その中で集中的に議論していただき方向性やイメージ等を考えていただいた上で形にしたいと思っています。今年度3月までで大方の姿が示せるとは思っていないので、事業着手できるまでの期間を活用しながらできるだけ新施設に市民や有識者の皆さんの声が盛り込めるよう考えていきたいと思っています。</p>
川上議員	<p>この年の3月までにおおよそのイメージを作り、それ以降4月から来年1月までは置いておいて、来年1月から着手するのですか。</p>
産業経済部長	<p>あくまで今年3月まで3回ありますが、ここまでは方向性やイメージづくりでの議論をさせていただき、それ以後、具体的な中身、仲買さんが移転した場合どういった間取りでやっていくとか、物販についてはどういう考え方でやる、飲食についてはどうする、これについてはまだまだ協議が必要だと思っています。検討委員会の中でも揉みますが、市民の皆さんからもできるだけ意見がいただける形を取りながら考えていきたいと思っています。</p>
川上議員	<p>新設についての新しい業務委託を再度かけるということですね。今ある業務委託はエリアのチェックなので。そういう理解で良いですか。</p>
産業経済部長	<p>あくまでもこれは計画づくりですから、実際に新施設中身をどうするかについては、今のところで言うと6月議会で実施設計に向けた予算要求をさせていただいた上で考えていきたいと思っています。</p>
牛尾議員	<p>常任委員会でもこの件は複数の議員から意見がでました。今日聞いていても皆さんと共通項で議論ができる感じではないような恐れを感じました。お魚センターは空っぽにしてHACCP対応して、7号の高度衛生管理型と連動するような施設を作るということです。1階は仲卸が入りますから、今の仲卸からあそこへ移るだけです。あと2階に複数のレストランを入れる計画をお持ちなので、選択肢を増やすということしていくと吸</p>

引力を増やすことで、それは良いと思うけど、新しい施設がどのような方向へ行こうとするのかは、市で方針を決めておいてから指定管理者の募集をしないとその辺まで見えてこないのが心配です。ですからもう少しははっきり言ってもらって、新しい施設が全く新しい所へ行って新しい事業をするわけではないので。施設全体の運営は今のお魚センターよりもはるかに楽になります。周辺の何とか水産と連動してやっていくとか、上のゆうひパークと連動してやっていく。そういったことを明確に市で方針を出してこないで、話を聞いていてもどうなるのか不安感が出てきます。僕らが委員会で言ったのは、新しいお魚センターをどうするか、逆に言えば集中議論して、その後全体の構想を考えていただく方が手順とすればわかりやすいのでは、という言い方をしました。

だからそういう説明を今日されるのかと思ったらそうでもないのが心配しています。3月に予算が上がるというので心配もしています。もう少し明確に市の姿勢を言っただけではないでしょうか。

副市長

牛尾議員がおっしゃるように、当面お魚センターについても非常に経営が厳しい状況が続いていますので、できるだけ債務超過に陥る前に整理したい。個人株主さんも多いですから、なるべく迷惑をかけないような形にしたいのですが、あそこはシンボリックな施設なのできちんとした対応をしないとイケない。議会からもこの施設については色々意見が言いたいというお声もありましたので、この検討委員会の中で漁港エリア全体と32年3月までしっかり検討しますが、このお魚センター付近は高度衛生型荷さばき所ができて、仲卸がHACCP対応できていないのでは意味がなくなってしまうということもありますので、公設水産物仲買売場をお魚センター内に入れて、2階部分は飲食等で活用させていただき、できるだけ早くシンボリックな施設に蘇らせたいのが市の思いです。3月までには検討委員会内でお魚センター活用についても色々ご意見があるかと思っておりますので、その辺もご意見を聞いて市がお魚センターを買収した後にどうするかは方針を出して議会に説明させていただいてご理解いただく形になろうかと思っておりますし、最終的な漁港エリア全体の、連携を取って上手く活用していくことについては、ビジョンの中で整備させていただいて、あくまでもこれは検討委員会のご意見ですので、それを受けた後で市がビジョンを立てて後期総合振興計画にも生かして盛り込みたいと思っています。

川神議長
佐々木議員

その他ございますか。

この取り組みについて前回の調査会でも話を聞いていましたが、検討委員会の役割、専門業者もおられるとのことで、それぞれの役割がわからなくて、この間の話では僕の勝手な判断で専門業者が業務委託されて、決めたことに対して検討委員会で諮問するといった役割分担があるのかと思えばどうやらそうでもない話なので、専門業者と検討委員会の関係が理解できないのですがどうでしょうか。

産業経済部長

検討委員会と委託の関係ですが、新年度に入りできたら業者に業務発注したいと考えています。役割は、全体の計画策定までのコーディネーターやデータ収集、まとめ作業といった、計画を具体的に作っていくハード的なところを中心に、業者には入っていただきたいと思っていますが、実際にビジョンの方向性や中身は最終的には検討委員会が中心に

なって作り上げていきますので、業者は補助的な役目をお願いしたいと考えています。

佐々木議員

境港を参考に業者をいれるのだという話だったと思います。境港でどんなことを決められたのかわかりませんが。どこまで入り込んでされるのかと、検討委員会で調整したりビジョンを決めたりするということですが、それにしては大人数ですし、業界の現場に携わっておられる方があまりおられない気がします。どこまでより優れたものができるのか疑問なのですが。これはこの前の調査会でも質問が出たと思いますが、その辺いかがでしょう。

産業経済部長

約20名の委員構成でエリア検討します。県大の先生については以前も漁業構造改革（リシップ）にも関わっていただいた方で水産関係に詳しいところもありますので、会のまとめもしていただきたいとお願いしています。また、商工会議所、商工会、金融界、観光協会、青年会議所、女性ネットワークについては、まちづくりの観点から所属団体を選出していますが、総合振興計画のメンバーを参考としましたが、浜田市全体のまちづくりという視点で関わっていただきたいとお願いしています。

またJFしまねについては漁業者の代表、魚商協同組合については仲買、水産加工会社等の代表、水産高校については水産教育の拠点、人材育成といった視点でご意見がいただけないかと思っています。

県の機関については実際にそこを所管していますし、水産業を直接施策として取り組んでおられるところなので、専門的なところからご意見がいただけないかと考えています。

地域協議会については中山間というところからご意見をいただきたいと思っています。

道下議員

一番は仲買人さんが今までのお魚センターをゼロベースで今からやるのだ、活性化するのだといったところが本当のビジョンなのだと思います。中、仲買人さんが現時点で自分たちがお魚センターについていくのは、お魚センターのしりぬぐいなのだという思いが強くあり、そこを市はどのように仲買人に説明していくのかが、まだ見えてこないのですが。それは今からやる方向ですか。それとも、別の方向で仲買人にアピールしていくのか。いかがですか。

産業経済部長

仲買さんについては、お魚センターに移られるのが今回の大前提なので、ここが狂うとお魚センター用地購入には至りません。昨年12月に仲買さんとの話の中で、新たなお魚センターに移っても良いという一定の理解をいただいたもので、それなら市が建物を購入しよう判断したものです。実際その後仲買さんの中からも今回の動きについては異議を唱える方もいましたので、1月20日前後だったかと思いますが、再度担当と課長が行って直接話をして理解いただいたと伺っています。仲買さんに対しては、今のままでは衛生面への対応や老朽化した施設をどうするか、耐震化も施されてない施設のままあそこでいつまで運営できるかを考えると、なかなか難しいという課題があります。そういった課題を仲買さんには考えていただいた上で、新たな施設への移転を判断していただいたものと考えています。

道下議員

仲買さんたちからもう理解は得ているのだと。それはそうでしょうけれど、そこをまだまだ突っ込んで市の説明をしていかないと、この話は

前に向いていかないと思っています。ではどうなのかが一番の問題ですが、そこは市の皆さんが一生懸命やるからついて来て欲しいというところを、仲買人さん達に示してもらって、理解を得るのが浜田漁業活性化につながるとしています。改めて仲買人さん達にもっと示して欲しいと思います。

産業経済部長

移転については一定の理解をいただいたと思っていますが、移るにあたっては移転費用だったり、移転先での間取りの関係をどうするか、行ったことについてはまだ今後も継続して仲買さんと話をしながら取り組んでいきたいと思っています。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

(3)について質疑等はありませんか。

(「なし」という声あり)

(4) 浜田市立原井幼稚園の休園について

川神議長

教育部長。

教育部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

今の報告について質疑等はありませんか。

牛尾議員

新聞にも書いてありましたが、原井幼稚園は平成26年3月で閉園予定だったのを、園児の保護者や地域の方々が中心となって反対陳情活動をする中で、大方9千名弱の署名をいただいて、どちらの幼稚園も古いからと総合新園をするということで、中期財政計画の中で総合新園を作る金額は6億数千万円あがっていました。そのことと、休園はどのように受け止めれば良いのでしょうか。陳情で署名された方には、原井幼稚園はやがて石見幼稚園と統合して新しい総合新園という。複数の同僚議員が何度も質問していますが、そういう流れの中で我々はそのように思っていますが、そのことと今回の休園とは全く別問題なのか、原井幼稚園は休園するが新しい幼稚園はかねての計画どおりに建てるのだという認識で良いですか。

教育部長

確かに原井幼稚園と石見幼稚園は統合という計画がありましたが、現実に原井幼稚園は2年連続で10名未満ですので、再来年度には閉園になるだろうと考えています。石見幼稚園と原井幼稚園の統合はもうないと判断しています。従って今は石見幼稚園だけの支援を建設する考えには至っていません。

牛尾議員

石見幼稚園も昭和47年くらいに屋根が落ちました。総合新園は原井幼稚園も閉園せざるを得ないという条件の中で、どちらの幼稚園も古いから新しい幼稚園を作って、フルモデルとなる幼稚園を作るべきではないかと。だからそのことと、このことは別問題と認識しています。署名をいただいた方に腹入れしてもらえる説明をしてもらわないと。基準値行かないから閉園ですというような説明では通らないと思います。その辺はあまりにぞんざいな言い方をされるのは良くないと思います。認定こども園ができて、幼稚園の子供はどんどん減っていきます。それがわかっていて、現幼稚園の園児が集まるような手当を、市はなぜ講じないのか。放置したから今日があるのではないかという批判もあります。そういうところを総合的に勘案しながら、注意して発言してもらわないと。

市民に対する説明責任を果たしておられない気がします。3月議会で僕はこれをやるので、これ以上言いません。

川神議長
岡本議員

その他ございますか。

元々原井幼稚園と石見幼稚園が統合するという話から、原井幼稚園の縮小が始まりました。それが原点で、この度原井幼稚園が2名からゼロになり閉園するから、これは置いておいて石見幼稚園だけの形で考えるということについては、もともとのスタートはここにあるので、原井と石見が統合した形の、市民に納得していただくような形の説明を期待するところでもありますし、この辺のこの考え方を再度お聞きします。

教育部長

たしかに原井と石見幼稚園の統合という話は今でもまだ生きていますが、今後についてで申し上げたように幼稚園の園児の数はどの園も減少しています。今回ニーズ調査を行う中で、公立幼稚園の必要性がどこまであるのかを考えながら、今後の幼稚園統合については考えたい。石見と原井であれば2園が1園という統合ではありますが、原井が閉園になった場合、残り3園あります。これらを含めた中での統合幼稚園も検討できると思っていますので、その辺を踏まえながら今後の検討課題にしたいと考えています。

岡本議員

意味はわかりますが、原井幼稚園の存続を求められた方に対してこういう状態になった経緯も含めて、配慮した説明をして欲しいとお願いしているわけで、ご配慮願いたいのですがいかがでしょうか。

教育部長

私の言葉足らずでしたが、その辺は丁寧な説明をしたいと思っています。

布施議員

歴史ある原井幼稚園が休園になることは大変寂しいです。幼稚園の必要性はあると思います。ただし預ける子供さんが少なくなったらこういう措置をするというのもわかりますが、数年前から私たちは幼稚園との意見交換を地元議員中心にしています。幼稚園と保育園の違いに関するニーズを聞いたり、私立幼稚園でも子供さんの人数をある程度確保して十分にやっている所があります。一つには給食を出したり、延長保育するなど努力しながら、送迎バスを出すことまでは考えていませんが、私立では人数確保をしている。公立だから人数が少なくなったらそのまま閉園という考え方を止めていただいて、PTAや園長さんが毎年のように陳情を出しておられると思います。そのニーズを受け止めていただき努力していただかないと、こうだから閉園しますというやり方は……しんどいことをやるのが職員の役目だと思います。しっかりニーズを把握していただき、検討いただきたいのですが。

教育部長

生の声ももちろんですが、ニーズ調査は就学前児童を持つ親御さん全てにアンケートされると聞いていますので、そこで声をしっかりきいて対応したいと考えています。

布施議員

現時点ではなく数年前から出ています。部長はご存知だと思います。陳情がある前から。その声をどうして生かさないか。今からやっても方向性が見えないのです。統合しても将来的にはここは少なくなっていくのではということで、認定こども園に集中していったりします。幼稚園を残すためにはこういう改革をしましたということ早く打ち出さないとジリ貧になっていくばかりではないですか。そういうことを考えるのが役所の仕事ではないですかと申し上げたわけです。

教育長

3名の議員さんから質問がありました。統括的にお話させていただきませんが、まず原井幼稚園と石見幼稚園を統合する話は、園児が極端に減少してきたこと、両園とも施設が老朽化していること等で統合園を新たに作って浜田の公立幼稚園を存続させていく方向性を示しました。現状を考えた時に、確かに原井幼稚園は園児が減ってきています。しかし石見幼稚園の現状を見ると、園児は減っていますが建物そのものは改善されたわけではなく、新しい園を建てることについては継続的に検討していかなくてはならないと思っています。

そうした中、来年度の子ども子育て支援事業計画の作成にあたってアンケート調査をした中で、再度公立幼稚園の在り方や需要を考えなおして、新たな計画を検討したいと思っています。統合幼稚園という話で進んできましたが、一旦立ち止まって全体的な把握を試みたいということです。幼児教育無償化といった問題もあり、親御さんの考え方もこれから多様化して変化があるかもしれません。その辺も少し見極めて、今後の幼児教育の在り方を考えたいということです。その点をご理解いただきたいと思いますし、以前陳情いただいた皆さんのことは十分承知しています。その方々にも丁寧な説明ができるように努めてまいりたいと思っています。

布施議員さんからありました、今までの要望への教育委員会としての対応ですが、主なものについては預かり保育、給食の配食といったものをして欲しいという希望が出ています。給食については各園では月に1回、給食センターの協力のもと給食を提供する取り組みを始めています。しかし配送の問題が残っています。今は園が取りに行っています。その辺の問題をクリアすることもあります。

預かり保育については新たな経費を生みますので、これについては統合新園を作る時に併せてこの問題についても解決するスタンスで来ていましたので、その辺についても少しご理解いただければと思います。

いずれにせよ教育委員会も幼稚園については今検討中ですので、しばらく時間をいただければと思っています。

その他ございますか。

原井幼稚園の休園が見えてきたことで、数年前に石見幼稚園との統合方針が出されてから立ち消えになったというか、はっきりしなくなった要因がようやく見えてきたという印象を個人的に抱いています。先ほどから公立幼稚園の在り方について見直していくという表現を何度かされています。それは文章最後の4行に同様の意味合いが書いてありますが、公立幼稚園の在り方を見直すという意味が理解できかねるので、もう少し具体的にご説明いただけたらと思います。どういう視点なのか。

教育長が申しましたとおり、認定こども園が増えている状況、市内には公立が4園ありますが来年度からは3園で運営することになります。原井・石見幼稚園の統合問題も絡めて、浜田市内の公立幼稚園をどうするかについて今後検討していくということです。どこまでニーズがあるのかも含めて検討したいと考えています。

非常に疑問なのは、確かに幼稚園に通う子は出ますが、私立幼稚園が1園ありますが、私立と公立の園児数の推移と、認定こども園の幼児部の流れを見ると、認定こども園は横滑りというか、見方によっては増えて

川神議長
西村議員

教育部長

西村議員

いる状況にもある。しかし私立幼稚園は現状維持ではないかと思っています。公立幼稚園の園児数推移しか書いてないのでわかりませんが、私立幼稚園はどうなっていますか。恐らくほとんど現状維持、あるいは年度によっては増えている状況もあるのではと思います。要するになぜそういう状況に私立や認定こども園の幼児部はあって、片や公立幼稚園はがた減りになっているのか。そこをどうとらえているのかをお聞きしたいのです。その視点がないと、見直すと言っても何を見直すのかわからない。そこが数字の上では大きなポイントではないかと思うので。推移だけは明確に答えていただきたい。

教育部長

私立幼稚園の園児数は横ばいか、もしくはやや微増傾向にあると聞いています。公立幼稚園の園児数が減っていることと他園との違いですが、要望にもありますが、預かり保育が一番大きいのではと考えます。それと給食の有無も大きな要因だと考えます。今後保育料の慣例に言うと、これまで公立幼稚園は割と保育料が安い設定ではありましたが、今後無償化という問題が出てくると、負担面では全く差がないことになります。そうしたことを考えると、今の状態でいけば公立は減っていくだろうと。預かり保育と給食の提供によって園児数がどこまで確保できるかということになるだろうと感じています。

西村議員

先ほどからニーズ調査のことを言われていますので、ニーズ調査についても一言言っておきたいと思いますが、ニーズ調査は少なくとも子ども子育て支援事業計画を見ると、公立か私立か希望しますか、みたいな設定はないのです。要するに幼稚園に通いたいか、通いたくないかという要望しかないのです。公立を選ぶか私立を選ぶかという設定はないのです。ニーズがわかる設問を設定しないと意味ないですよ、ということが言いたいのです。それも敢えてわかるような設問の仕方を考えていただきたい。考えていらっしゃるならそれで良いですが。そのことをお伝えしたくて。

教育部長

このニーズ調査は既に行っていますが、幼稚園の設問に関しては、公立か私立かという区分けもあります。その中で公立幼稚園も延長なしの利用だったり預かり保育がある場合という分け方もしていますので、ニーズを含めた調査内容になっています。

川神議長
澁谷議員

その他ございますか。

幼児教育という言葉もありましたし、施設老朽化という話もありました。しかし一方では浜田市には老朽化した美川小学校と第四中学校の建て替えの問題もあるし、石見小学校の老朽化問題もある。そういう中で中期財政計画にはここ10年全然落とし込んでいません。今のような話は場当たりの答弁としか思えません。トータルのビジョンがあって順番に建て替えていくといった教育行政の方針がないままに、幼稚園も小学校も中学校も大事なはずなので、その辺はどうなのかと。それはいつも学校統合審議会の結果を待って、という答弁で終わっています。教育委員会の職務怠慢ではないですか。明確なビジョンを示して予算取りと中期財政計画の中に落とし込んでいく作業に対する努力が足りないと思いますがいかがですか。

教育部長

統合幼稚園に関しては中期財政計画の中にあがっていましたが、時期的に後ろへ移行した経緯があります。小中学校に関しては統合審議会で

審議していただいている最中ですので、それに基づいて今後整備・統合計画を作っていきます。この計画ができないと財政計画にも上げられません。ただ、小中学校を建て替えると相当な金額になりますので、例えば10年間でいくつも建て替えられるとは思っていません、せいぜい1校か2校だと思っていますが、そういったことは今後計画策定する中で、財政とも協議させていただきたいと考えています。

川神議長

その他ございますか。

(「なし」という声あり)

(5) その他

川神議長

執行部から他に報告事項がありますか

(「ありません」という声あり)

川神議長

以上で、執行部報告事項を終わりますが、レジュメに記載のとおり配布がありますので、ご確認ください。

2 その他

(1) 年末調整について

川神議長

その他、事務局から連絡事項がありますのでお願いします。

小川局長

確認です、代表質問・一般質問の締切は来週12日(火)11時となっていますので、議員の皆さんどうぞよろしくお願いします。

それからもう1つ、先般の議運で、3月議会からペーパーレス会議実施となりますが、3月議会で配布している予算説明資料については冊子で皆さんにお配りすることが決定していますので、8日の議会運営委員会が終わった段階でお配りしますので確認をお願いします。

今日、質問の作成に必要でしょうから市政方針・教育方針の骨子をお配りするお約束にしていました。今からお配りしますので時間をいただいて、その場でお待ちいただきたいと思います。

《 事務局職員により資料配布 》

川神議長

その他議員の皆さんから何かございますか。

(「なし」という声あり)

何もないようなら、これで全員協議会を終了いたします。

[11時 15分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司